

支援方針	①小集団または個別支援により、自立に向けて、おもに「社会生活スキル」「学校生活スキル」の向上を目指します。 ②お子さま一人ひとりの課題改善に向け、学習支援、ソーシャルスキル支援などのプログラムに基づき行います。
------	--

## 五領域に基づく活動

五領域		目的等	具体的支援方法		
1	健康・生活 (a)健康状態の維持・改善 (b)生活のリズムや生活習慣の形成 (c)基本的生活スキルの獲得	□健康な生活習慣の促進や、健康な心と生活のスキルの獲得  □生活において自分でできることが増える基本的生活スキルの獲得	①基本的な生活習慣を身に付ける	あいさつ・手洗い・検温・荷物整理・トイレの使い方・身だしなみ・食事	
			②家庭・学校の生活	健康観察 睡眠、食事、運動など生活おける状況を確認 生活リズムを整える支援	
			③生活スキルの向上	買い物体験・調理・掃除・公共交通機関の利用・公共の場所へのお出かけのマナー・時間管理と予測・見通しをもった行動	
2	運動・感覚 (a)姿勢と運動・動作の向上 (b)姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 (c)保有する感覚の総合的な活用  支援内容:運動能力や感覚統合の支援	●感覚調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高める  □「微細運動」に関する支援  □「粗大運動」に関する支援  □感覚の過敏さや鈍麻などに合わせた環境調整	①微細運動	学習	鉛筆の持ち方、点むすび、線引き、コグトレ学習
				造形遊び	折り紙・アイロンビーズ・お絵描き・工作
				構成遊び	レゴ・ラキュー・ドミノ・カプラ・パターンブロック
				ゲーム	スティッキー・インパクト・マンカラ・4目並べ・クラスク
				伝承遊び	けん玉・お手玉
				手芸	刺し子、フェルト・針と糸・毛糸・クラフト細工、はさみ
			調理	包丁など調理器具の使用法	
②粗大運動	ハイキング	中高生・地域探索ハイキング			
③環境調整	公園散策				
3	認知・行動 (a)認知の発達と行動の習得 (b)空間・時間・数等の概念形成の習得 (c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	●発達レベルに応じた教科学習の支援、認知の偏りに対する予防(誤学習)と状況に応じた適切な行動への対応力を養う  □空間・時間・数等の概念形成の習得  □適切な認知と適切な行動の習得	①認知	・SST学習による自己理解を深める支援 ・見通しを立てる 学習時間、バス乗車時間などを確認する習慣化	
			②行動	・見通しを持って行動できるように支援する バス乗車時刻、お迎え時刻など	
			②個別学習支援	・個別指導による学習支援 個々の学習課題に応じた継続学習 ・必要に応じて、デイス、タブレット、パソコンを利用する ・SST学習による自己理解と適切な言動のあり方指導	
				③リラックスタイム 遊びの中での支援	おやつ
			造形・手芸	折り紙・アイロンビーズ・お絵描き・刺し子、フェルトなど	
			構成遊び	ラキュー・カプラ・パターンブロック 空間認知	
			ゲーム	ダブル、将棋、オセロ等あらゆるゲーム	

五領域		目的等	具体的支援方法		
4	<b>言語・コミュニケーション</b> (a)言語の形成と活用 (b)言語の受容及び表出 (c)コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d)コミュニケーション手段の選択と活用	<b>●適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り、社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高める</b>  <input type="checkbox"/> 読み書き障害、ワーキングメモリの低さ等から来る言語に関する苦手さの軽減をはかる  <input type="checkbox"/> 遊びの中で、スタッフや友達とコミュニケーションをとり、自分の気持ちを上手に伝える方法を学ぶ	①個別など学習支援	・個別の学習支援により、語彙力アップ、読み書き、文章理解など学習を通して言語力の向上を支援する ・の補完をする	
			②SST学習	・個別学習の中で実践 場に適した言動の在り方を共に考えるSST学習 ・言葉で相手に気持ちを伝える練習を繰り返す ・小グループによるSST学習(中学生)	
			③リラックスタイム	ゲーム	レシビ・ボブジテン・好きなのどっち等あらゆるゲーム
				その他すべての遊び	・遊びを通じてスタッフ、友達とコミュニケーションを取り、自分の気持ちを上手に伝える方法を学ぶ
③情報交換 雑談(中学生)	・安全で安心できる環境、互いに認め合う人間関係づくりに努める ・気楽に、自由に自らのこと、考えを話せる 情報を交換 ※スタッフが関わり 適切なコミュニケーションのあり方を指導する				
5	<b>人間関係・社会性</b> (a)他者との関わり(人間関係)の形成 (b)自己の理解と行動の調整 (c)仲間づくりと集団への参加  <input type="checkbox"/> 他者との関わりの中での社会性の発達と集団活動や社会参加の支援	<b>●集団活動でのルールに合わせた行動や社会参加の経験を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り、社会生活における適応力を養う</b>  <input type="checkbox"/> 遊びや様々な活動を通じて、人間関係や社会性を学ぶ	①リラックスタイム 遊びの中での支援 (小学生)	その他すべての遊び ・遊びを通じてスタッフ、友達とコミュニケーションを取り、一緒に遊んで楽しいという体験を積む ・遊びの中で、協力したり、意見をぶつけ合ったりしながら、よりよい関係作りをする	
			②情報交換 雑談(中学生)	・安全で安心できる環境、互いに認め合う人間関係づくりに努める ・気楽に、自由に自らのこと、考えを話せる 情報を交換・共有する ※スタッフが関わり 適切なコミュニケーションのあり方を指導する	
			③中高生プログラム 施設見学等の体験活動	・公共施設、交通機関の利用、地域探索などを通して公共マナーを学びつつ地域社会との繋がりを持つ	
			④自立に向けた支援 中学生	働くひと講座	将来の就労に向けた講座
				進路講座	中学生 高校など進路選択を考える講座
			⑤小中高共同プログラム 運営補助	・収穫祭、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、もちつき等 全体プログラム時の運営補助を通して役割を学ぶ ・地域での行事等にも参加する機会を作る	

### 家族支援

・送迎時における説明や定期的な面談等により、ご家庭、事業所におけるお子さんの様子や課題について情報共有を図り、支援に活かします。  
 ・療育に関する研修や保護者間の交流の場として3か月に一度程度、保護者会を開催します。 ・公認心理士、特別支援教育士等が保護者相談に応じています。

### 移行支援

・キャリアコンサルタント、社会福祉士等により、 ・自己理解を深める支援をしつつ社会で自立した生活を目指す、就労や自立生活に役立つ知識を提供する機会を学年進行に応じて設けています。 ・保護者会や個別面談により進路選択にかかわる情報提供を行っています。

### 職員の質

・元小中高校の教員が支援にあたります。ほとんどの教科の教員免許を有しています。  
 ・公認心理士4名、特別支援教育士3名、キャリアコンサルタント2名、社会福祉士などにより運営しています。児童発達支援管理責任者 資格者2名